

日本鐵鋼協會記事

◎評議員會

大正九年十一月十五日(月曜日)午後五時より本會事務所
に於て評議員會を開く會議事項左の如し。

- 一、入退會者の件
- 一、居所不明者に關する件
- 一、各學會の連絡機關として工學會の組織變更に對し本會之に參加の件
- 一、製鐵業に關する根本方策に就て本會の意見を定むるの件
- 一、講演會開催の件
- 一、其他會務に關する件

當日出席者は左の諸氏なり。

香村 小録君	野呂 景義君	俵 國一君
今泉 嘉一郎君	鹽田 泰介君	種子田 右八郎君
吉川 雄輔君	日向 庄作君	大塚 榮吉君
横堀 治三郎君	井上 禧之助君	

◎理事會

大正九年十一月十九日(金曜日)午後五時より本會事務所に

於て理事會を開く會議事項左の如し。

- 一、鑛物文明展覽會へ參考品出品の件
- 一、退會者の件
- 一、其他會務に關する件

當日出席者は左の諸氏なり。

野呂 景義君	今泉 嘉一郎君	俵 國一君
--------	---------	-------

◎編輯會

大正九年十一月十九日午後五時より本會事務所に於て編輯會を開き會誌第六年第十二號の原稿を選定せり。當日出席者は左の諸氏なり。

俵 國一君	櫻井 爭三君	尾藤 加勢士君
-------	--------	---------

◎評議員會

大正九年十一月二十七日(土曜日)午後四時半より評議員會を開き左の事項に就きて協議せり。

- 一、製鐵業振興方策に關する件

當日出席者は左の諸氏なり。

香村 小録君	野呂 景義君	今泉 嘉一郎君
俵 國一君	鹽田 泰介君	種子田 右八郎君
水谷 叔彦君	加茂 正雄君	原田 鎮治君
日向 庄作君	桂 辨三君	松下 長久君

◎講演會

大正九年十一月二十七日午後六時より本會事務所に於て講演會を開く。(講演速記は次號に掲載すべし)

一、鋼に於ける粒の成長と物理的性質との關係

杉村伊兵衛君

一、戰役間に於ける獨逸の鐵工業

陸路 録君

當日出席者は

香村 小録君 野呂 景義君 今泉 嘉一郎君

俵 國一君 鹽田 泰介君 種子田右八郎君

水谷 叔彦君 加茂 正雄君 原田 鎮治君

日向 庄作君 桂 辨三君 松下 長久君

大野 宗平君 室井 嘉治馬君 堀 尙靖君

福原 達三君

外七十有餘名なりき。

◎製鐵業振興方策に關する意見書

大正九年十一月十五日並に同二十七日の兩回に亘り評議員會に於て審議の上左記「本邦製鐵業振興方策ニ就テ」の意見書を作製し當局官省並に關係諸方面へ提出せり。

製鐵業振興方策ニ就テ

日本鐵鋼協會評議員會

(一)製鐵業振興方策樹立ノ急務

製鐵業ノ振興ハ國防上絕對的必要ナルノミナラス諸般工業ノ基礎ヲ鞏固ニシ將來確實ナル發展ヲ期スルニ於テ最モ重要ノ案件ナルコトハ世間一般ノ認識スル所ニシテ何人モ之ヲ拒否スル者ナシ然ルニ本邦ニ於テハ製鐵原料豐カナラサルヲ以テ甚シク前途ヲ危惧シ之カ供給ニ就テ充分ナル調査ヲ完了スルニ非ラサレハ製鐵業振興ノ方策ヲ講スルコト能ハスト説ク者アリト雖モ從來多年ノ間官民共ニ調査ヲ進メ既ニ大要ヲ知得シタル今日ニ及ンテ尙且ツ躊躇逡巡世界大勢ノ進運ヲ無視シテ徒ニ時日ヲ遷延シ原料調査ノ完結スル迄此ノ問題ヲ自然ニ放任セントスルカ如キハ國家政策上斷シテ忍フ能ハサル所ナリ況ンヤ本業カ大戰ノ機會ニ乘シテ急速ナル發達ヲ爲シ原料收得ノ途ヲ拓クト共ニ益々隆盛ニ赴キ將ニ需要ノ大部ヲ製出シ得ルノ域ニ達セントシタルハ洵ニ喜フヘキモ平時ノ常態ニ復シタル今日ニ於テ速カニ之ヲ維持シ振興スルノ方策ヲ樹ツルニ非ラサレハ忽チ萎靡衰退ノ虞アルニ於テオヤ故ニ或ハ原料調査ノ如キ技術研究ノ如キ終始續行シテ怠ルヘカラサルハ勿論ナリト雖モ此際時勢ノ進運ニ應シテ振興方策ヲ樹立スルコト目下ノ急務ナリトス

(二)製鐵原料ノ調査

製鐵原料タル鐵礦及石炭ノ調査ハ前項ニ記スルカ如ク從來多年施行セラレタリト雖モ之ニ費シタル所寧ロ僅少ニシテ隨テ其效果未タ足ラサルノ感ナキニ非ラス吾人ハ此

際政府ニ於テ適當ナル機關ヲ設ケ從來ニ數倍スル經費ヲ
投シ出來得ル限り完全ニシテ且ツ徹底的ナル調査ヲ實施
スルヲ必要ト認ム今其ノ主ナル項目ヲ列舉スレハ大略左
ノ如シ

(イ)内地及朝鮮ニ於テ鐵鑛ノ調査ヲ組織的ニ勵行スルコ

ト

附 磁鐵鑛床ニ對シテハ磁力測量ヲ勵行スルコト

(ロ)砂鐵ノ存在量ヲ調査スルコト

(ハ)硫化鐵鑛等鐵鑛トシテ使用シ得ヘキ材料ヲ調査スル

コト

(ニ)近キ海外ニ於テ鐵鑛石炭等ノ製鐵原料ヲ調査シ之カ

開發並ニ收得ノ途ヲ講スルコト

(三)製鐵技術ノ研究

世界大戰中何レノ製鐵所ニ於テモ生産ノ増加ニ没頭シテ
技術ノ研究ヲ閑却シタルノ嫌アリ殊ニ本邦ニ在リテハ其
傾向最モ甚シカリシカ如シ技術ノ進歩ハ經濟的作業ノ要
素ナルコト論ヲ俟タサルカ故ニ之カ研究ヲ獎勵シ各研究
機關ノ聯絡ヲ計リ無益ノ重複ヲ避ケテ相互ノ利益ヲ進メ
一般ニ研究ノ結果ヲ迅速且ツ有効ニ應用セシムルコトヲ
期セサルヘカラス研究ノ項目ハ多種多様ニ亘リ且ツ各製
鐵所ニ於ケル特別ノ事情ト内外國ニ於ケル新發明ヲ參照
シテ前後緩急ヲ計ルヘキカ故ニ茲ニ之ヲ省ク
但シ砂鐵及硫化鐵鑛ノ製鍊方法ノ如キハ前項ノ原料調査

ニ關聯シテ最モ急要タルヘシ

(四)製鐵業ノ組織及經營

製鐵業ハ之ヲ大規模ニ經營スルノ有利ナルコト世既ニ定
論アリ是ニ於テ乎製鐵業合同ノ說囂シク論者或ハ一大合
同ノ專横ヲ慮リ二三併立ヲ以テ競争上利益ナリト唱フル
モノアリト雖モ本邦ノ如キ外國製鐵業ヲ強敵トシテ常ニ
眼前ニ控フル國情ニ在リテハ一大合同ノ爲ニ事業ノ進歩
ヲ遲滯シ或ハ橫暴ニ流ル、カ如キ憂ナク合同ノ効果ハ合
一ニ依リテ益々發揮セラルヘシ一方合同經營ニ對シテ組
合組織ヲ説ク者アリ前者ハ米國ノ「トラスト」ニシテ後者
ハ獨逸ノ「シンデケート」ナリトス兩者各利害得失アリト
雖モ要スルニ其ノ國四圍ノ情勢ニ應シテ適否ヲ考慮セサ
ルヘカラス概シテ「トラスト」ノ有効確實ナルヲ優レリト
シ就中本邦ニ在リテハ製鐵原料ノ多量ヲ海外ニ求ムヘキ
必要アルニ依リ之カ收得ニ就テ無益ノ競争ヲ避クルノ點
ニ於テ最モ「トラスト」ノ適切ナルヲ認ム
今ヤ官營八幡製鐵所ハ本邦製鐵業ノ霸權ヲ有スルカ故ニ
之ヲ除外シタル合同製鐵所ハ斯業不振ノ際ニ於テハ到底
對峙發展ノ望ナキニ依リ眞ニ合同經營ノ實價ヲ擧ケン
欲セハ八幡製鐵所ヲ中樞トシ之ニ他ノ將來有望ナル諸製
鐵所ヲ合同セサルヘカラス而シテ此合同ヲナスニ當リ之
ヲ國營トナスヘキヤ半官半民ノ株式組織トナスヘキヤ將
又純民業トナスヘキヤニ就テハ種々ノ方面ヨリ觀察シテ

議論區タルヘキモ歸スル所吾人ハ半官半民ノ株式組織ヲ以テ最モ機宜ニ適シタル方法ナリト信スルモノナリ

(五) 製鐵業ノ保護

本邦製鐵業カ其組織及經營法ノ改革ト原料ノ確保並ニ技術ノ進歩ニ從ヒ他日何等ノ保護ヲ要セサルニ至ランコト吾人ノ切ニ希望スル所ナリト雖モ現在及近キ將來ニ於テハ適當ノ保護ヲ加ヘ其發達ヲ促進スルノ必要アルコト世論ノ一致スル所ニシテ議論ノ岐ル、所ハ唯其ノ方法如何ニアリテ存シ結局生産費補助ト關稅引上ノ二途ニ歸着スルモノ、如シ吾人ノ見ル所ヲ以テスルニ國防上ノ必要ト産業ノ基礎確立ヲ目的トシテ國家的見地ヨリ製鐵保護ナル犠牲ヲ拂フ場合ニ於テ直接使用者ニノミ之ヲ負擔セシメスシテ國民全般ニ之ヲ負擔セシムルコトノ合理的ナルヲ思フカ故ニ理論上ヨリハ生産費補助ヲ可トスヘキ理由ナキニ非ラスト雖モ其ノ實行ニ於テ大ナル困難アルヲ免レシ之ニ反シ關稅保護ハ古來歐米諸國ノ實例ニ鑑ミ實行簡易ニシテ有効確實ナルノミナラス終極ノ負擔ハ國民全般ニ及フヘキヲ以テ實際上ヨリハ關稅引上ヲ選ハサルヲ得ス況ンヤ銑鋼ノ現行關稅ハ諸外國ノ實例ニ對比シテ餘リニ微少ナルニ於テヲ然リト雖モ本邦ニ於テハ現ニ協定稅率ノ存在スルモノアリテ之カ關稅引上ハ當分事實上不可能ナルヲ以テ此ノ種類ニ對シテハ生産費補助ノ策ヲ採ラ然ラサルモノニ在リテハ實行ノ最モ簡易ナル關稅引

上ニ據ルヲ以テ最モ時宜ニ適シタル良策ナリト信ス尙銑鐵其他協定稅率ニ係ルモノハ其ノ種類各單純ニシテ生産費略一定スルヲ以テ之カ補助額ヲ定ムルコト容易ナルモ鋼材ニ至リテハ其ノ品質形狀多種多樣ニシテ生産費ニ多大ノ懸隔ヲ有シ之カ補助額ヲ一々公平ニ規定スルコト極メテ困難ナル事實アリトス更ニ一步ヲ進メテ國庫ノ收支ニ就テ考フルニ協定稅率ノ存スルモノニ對スル生産費補助ハ優ニ無協定品ニ課スル關稅引上ニ因リテ支辨シ得ヘキヤ明カナリ

關稅引上ヲ行フ時ハ一時造船業鐵工業其他鋼材需要者ニ幾分ノ影響ヲ及ホスコトアルヘキヲ以テ出來得ヘクンハ成可ク此ノ影響ヲ少テカラシムルニ島メサルヘカラス而シテ前項ニ論セル合同經營ヲ實行スル時ハ内國生産費ヲ著シク輕減シ隨テ關稅引上ノ程度ヲ相當緩和スルヲ得ヘシ要スルニ一方合同經營ニ依リテ極力生産費ノ節減ヲ圖リ尙其ノ足ラサル所ハ鋼材ノ關稅改正ニ據リテ外國品ノ輸入ヲ調節シ且ツ其ノ財源ヲ以テ目下協定稅率ノ存置スル銑鐵等ノ生産補助ヲ行フコト蓋シ全般ニ涉リテ最モ公明正大ニシテ實行ニ適シタル製鐵業振興ノ方策ナリト信ス

◎ 入 退 會 者

前號報告後入退會を承諾せられたる會員左の如し。

退會者 (住所及職業)

福岡縣福築村三井山野鐵業所員	正員	富田	太郎
東京市外戸塚町字源兵衛十八、三井鑛山會社員	同	黒田	恒馬
名古屋市西區鷹匠町三ノ廿、電氣製鋼所員	同	角田	正喬
鳥取縣西伯郡米子町尾高町、製鋼業	同	坂口	豐藏
神戸市榮町三丁目	同	湯淺	商店
東京市芝區三田豐岡町十	同	岩淵	製鋼所
支那大冶鐵山大冶鐵務局顧問	同	小野	虎雄
神戸市兵庫和田宮通五ノ卅ノ二、三菱造船會社員	同	今里	尙
神戸市須磨町西代八幡前二ノ五七、三菱造船會社員	同	唐澤	三省
東京市丸ノ内海上ビルデング、木曾電氣興業會社員	同	増田	次郎
東京市本所區柳原町二ノ三四	同	榎	明一
東京市四谷區東信濃町十、二葉屋社員	同	猪俣	泰一作
八幡市製鐵所員	同	本田	貞之助
兵庫縣武庫郡芦屋村大阪鑄鋼所員	同	羽室	耕平
神戸市三菱造船會社員	同	津田	毅三
東京市日本橋區駿河町、三井鑛山會社員	同	横山	貞嗣
東京府南葛飾郡大島町、東京鋼材會社員	准員	服部	宗三
支那漢口漢陽鐵政廠員	同	神代	精二
長崎縣早岐港早岐鐵工所員	同	久原	清左衛門
東京市外下落合四三六、東京鋼材會社員	同	矢野	元三
八幡市製鐵所員	同	林	新藏
同	同	松浦	道徹
同	同	遠藤	藤雄
同	同	高山	松平
同	同	安田	勇治
同	同	清水	豊次郎
東京市麻布區本村町五二、芝浦製作所員	同	清水	豊次郎

入會者 (住所及職業)

東京府荏原郡大森字山王二七三二、工學士 正員 渡邊 謙吉
 東京市南區熱田東町字夜寒五二、東海電極製造會社取締役

東京市外下落合四二〇、工學士 同 川崎 會恒三
 東京市京區區木挽町一ノ十四、日本鋼管會社員 同 三島 德七
 東京市芝區自金猿町六一、工學士 同 波邊 新
 東京市外戸塚町伊勢原七九二、工學士 同 川畑 仁太郎
 東京府荏原郡入新井町二五六二、法學士 同 三野 熊雄
 神奈川縣川崎町在日本鋼管會社員 同 古賀 貞六
 神奈川縣鶴見上町五一五、日本鋼管會社員 同 河田 重
 神奈川縣橋本郡川崎町砂子一二一、日本鋼管會社員 同 熊地 直
 東京府荏原郡蒲田村新宿八一、日本鋼管會社員 同 山王 堂達三
 東京市牛込區仲ノ町五七、三菱製鐵會社取締役 同 藤井 鐵造
 東京府荏原郡南品川三ツ木九四六、東京電氣會社員 同 三好 重道
 石川縣小松町、小松電氣製鋼所員 准員 中上 義
 神奈川縣橋本郡田島村大島六七五、日本鋼管會社員 同 池田 久
 神奈川縣橋本郡大師河原村大師河原一四ノ三、日本鋼管會社員 同 蓮見 幸之助
 東京市麻布區本村町一一六、日本鋼管會社員 同 大山 長三郎
 同 田島 亨

◎轉居

前號告後轉居者の新住所左の如し。

大阪市西區九條南通一ノ一〇一 吉田 幸吉
 北海道膽振國虹田郡東知安村字脇方 渡邊 綱雄
 大阪府東成郡城東村大字鳴野 西川 福馬
 東京市外下落合村七三四 坂井 清
 東京府下蒲田驛前木製板紙製造所 小野澤 忠太郎
 東京市外中野町字園三三四五 砂田 數夫
 神戸市大手字大手後十九番廿二番屋敷ノ廿二 服部 紀雄
 大阪市北區富島町六四大阪商船會社工務課 伊藤 宅治
 東京市外濠谷下廣尾二八 丸 巖

